

千葉市の ICT普及促進の取り組みについて

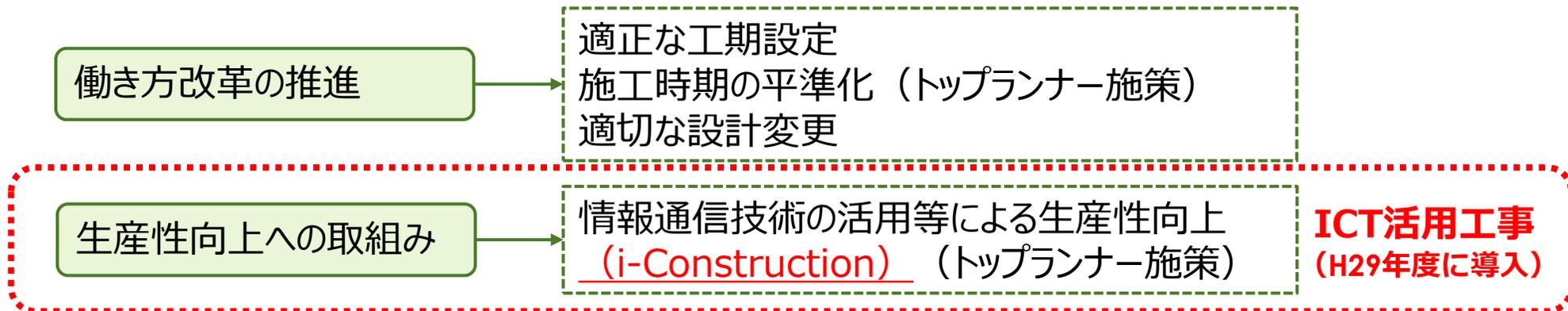
《目次》

- 1 ICT活用工事の導入
 - 2 ICT活用工事の取組状況
 - 3 ICT活用工事の適用拡大に向けて
- 参考資料

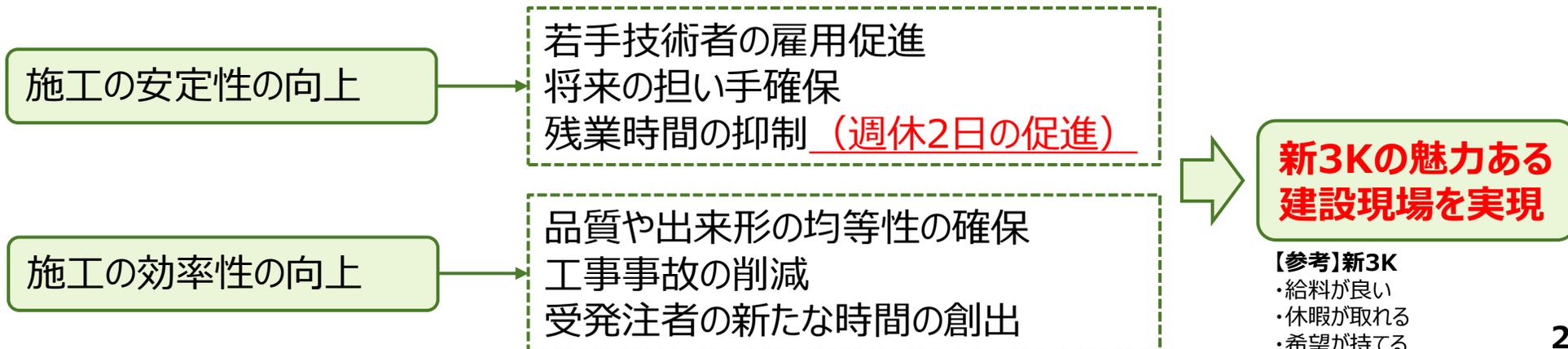
千葉市 建設局 土木部 技術管理課

- 千葉市においても、新・担い手3法（品確法と建設業法・入契法の一体的改正）で謳われている「働き方改革の推進」、生産性向上への取組」の考え方に基づき、i-Construction（適正な工期設定、施工時期の平準化等の他、情報通信技術の活用等）による生産性向上を積極的に取組んでいく必要がある。
- i-Constructionの導入によって、施工の安定性、効率性が向上することが期待される。

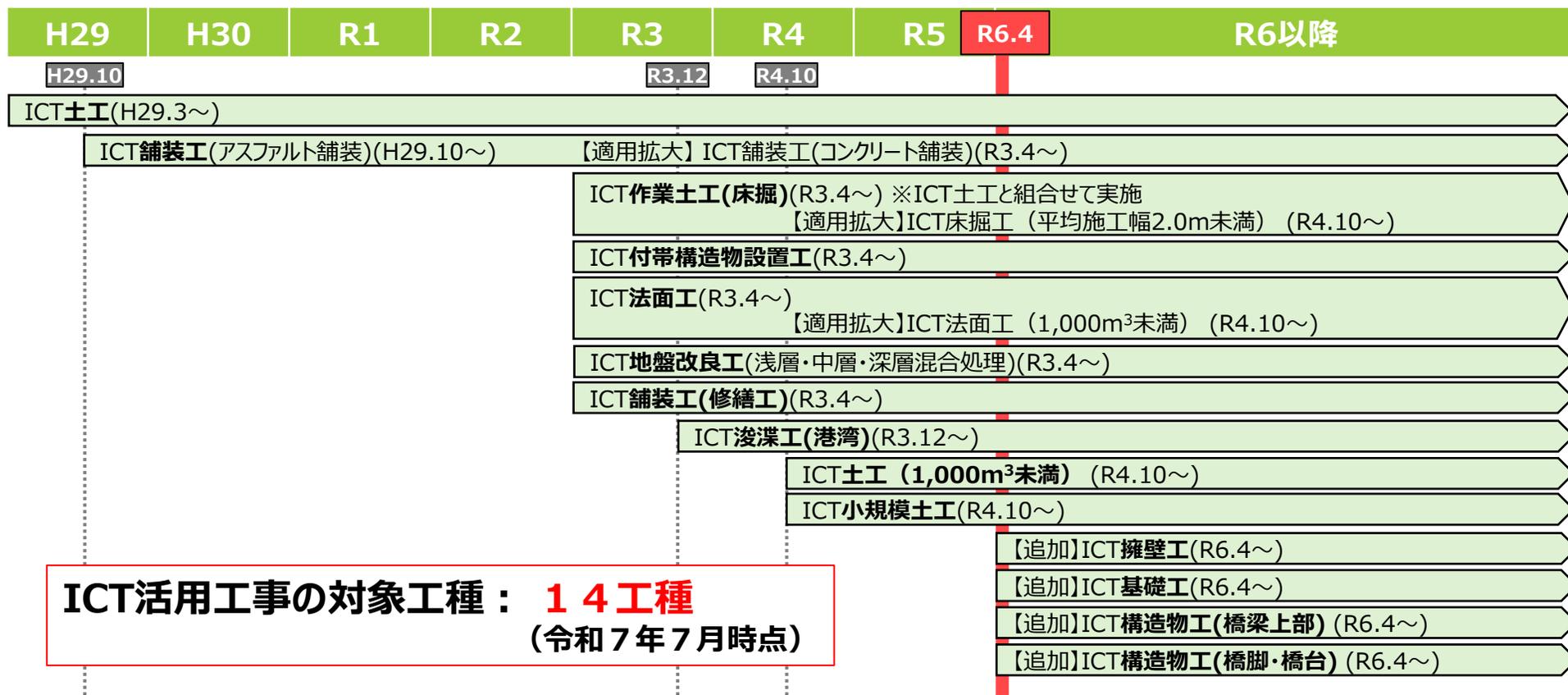
（1）i-Construction導入の背景（新・担い手3法）



（2）i-Constructionの導入効果

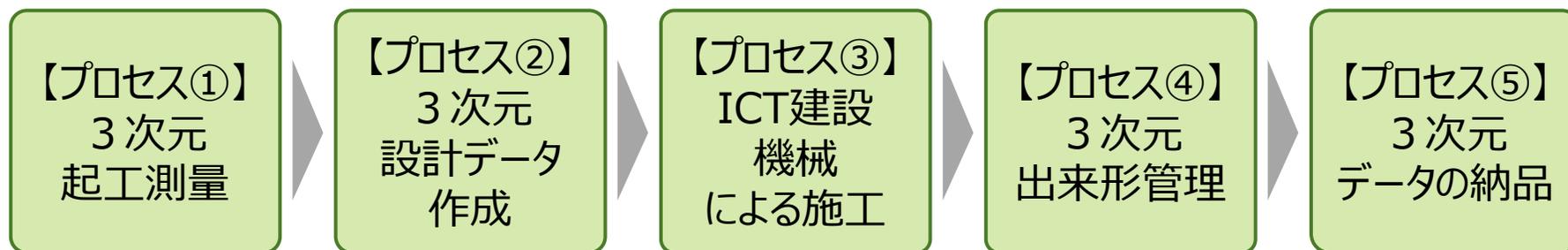


2 ICT活用工事の取組状況 (対象工種)



工種別実施件数	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	計
実施件数 (全体)	4件	0件	1件	0件	0件	10件	7件	16件	38件
ICT土工(作業土工含む)	4件	0件	1件	0件	0件	6件	6件	10件	27件
ICT舗装工(修繕工含む)	0件	0件	0件	0件	0件	4件	1件	5件	10件
ICT構造物 (橋脚・橋台)								1件	1件

2 ICT活用工事の取組状況 (旧型式)



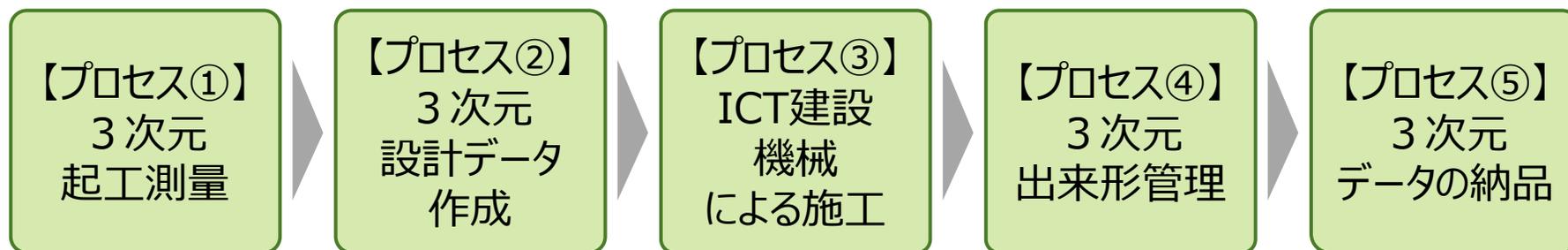
令和7年3月時点

フル型 ICT活用工事	施工プロセス①～⑤ 全て実施
チャレンジ簡易型 ICT活用工事	必須項目 ：施工プロセス②、④、⑤ 選択項目：施工プロセス①、③
トライアル型 ICT活用工事	施工プロセス①～⑤の いずれか1つ以上 を実施 (R7.3まで)

※「チャレンジ簡易型」「トライアル型」は令和3年12月から適用開始

型式別実施件数	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	計
実施件数 (全体)	4件	0件	1件	0件	0件	10件	7件	16件	38件
フル型	4件	0件	1件	0件	0件	6件	5件	14件	30件
チャレンジ簡易型					0件	3件	1件	1件	5件
トライアル型					0件	1件	1件	1件	3件

2 ICT活用工事の取組状況 (新型式)



令和7年7月時点

フル型 ICT活用工事	施工プロセス①～⑤ 全て実施
チャレンジ簡易型 ICT活用工事	必須項目 ：施工プロセス②、④、⑤ 選択項目 ：施工プロセス①、③
変更 トライアル型 ICT活用工事	施工プロセス②〔 必須 〕と③若しくは④〔 いずれか必須 〕(R7.4～)

■変更のポイント

- ICT活用工事の軸である **3次元設計データ作成(プロセス②)**は必須。
- **施工(プロセス③)**または**出来形管理(プロセス④)**のいずれかで3次元設計データを活用。



ICT活用工事未経験業者でも**挑戦しやすく**、3次元設計データ活用の**効果を実感**できる。

2 ICT活用工事の取組状況（発注方式）

発注方式 ※ ICTの活用にかかる費用はいずれも設計変更の対象

令和7年7月時点

発注者指定型	発注者が指定した工事に適用する。 発注者との協議が整った「フル型 ICT 活用工事」又は「チャレンジ簡易型 ICT 活用工事」、「トライアル型 ICT 活用工事」で施工しなければならない。
受注者希望Ⅰ型 （総合評価）	<u>発注者が総合評価落札方式による「ICT活用工事の取組状況」を評価項目に設定した工事に適用する。</u> 受注者は、提出した技術提案書に基づき「フル型 ICT 活用工事」又は「チャレンジ簡易型 ICT 活用工事」、「トライアル型 ICT 活用工事」のいずれかを原則施工する。
受注者希望Ⅱ型	上記以外の発注者が指定した工事に適用する。 受注者より希望があり、着手前に施工計画を提出し、発注者との協議が整った場合、「フル型 ICT 活用工事」又は「チャレンジ簡易型 ICT 活用工事」、「トライアル型 ICT 活用工事」で施工できる。

【参考】ICT活用工事にかかる費用

例) ICT土工（1,000m³以上）

令和7年7月時点

項目	費用	備考
ICT建設機械経費加算額	施工数量により算出	積算要領
システム初期費（掘削の場合）	598,000円／式	積算要領
3次元起工測量・3次元設計データ作成費	受注者見積により算出	見積書
3次元出来形管理・3次元データ納品	受注者見積または補正係数により算出	見積書、積算要領

2 ICT活用工事の取組状況（インセンティブ）

■ 総合評価落札方式及び工事成績評定のインセンティブ

令和7年7月時点

発注方式	総合評価落札方式 (技術提案項目)	工事成績評定	履行できない場合の ペナルティ
発注者指定型	-		工事成績評定で 5点減点 (契約違反に該当する疑い)
受注者希望Ⅰ型 (総合評価)	フル型 : 3点 チャレンジ簡易型 : 2点 トライアル型 : 1点	創意工夫の情報化施工活用で加点 フル型 : 2点 創意工夫のその他で加点 チャレンジ簡易型 : 1点 トライアル型 : 1点	工事成績評定で 5点減点 (契約違反に該当する疑い)
受注者希望Ⅱ型	-		ペナルティなし

■ 研修会におけるアンケート調査結果

➤実施した受注者向けICT研修会において、アンケート調査を実施したところ、7割以上の企業がICT活用工事に取り組んでいる、又は取組もうとしていると、ICT活用工事に対して前向きに取り組もうとしている。

研修会の実施状況

	R2	R3	R4	R5	R6
研修会の実施回数	2回	1回	7回	4回	4回
うち受注者向け（研修会）	0回	1回	3回	3回	1回
うち職員向け（現場見学会）	2回	0回	4回	1回	3回

※R3、R4、R5、R6の受注者向け研修会には職員も参加している。



■ ICT研修会・アンケート結果

1 現在、ICT活用工事に取り組んでいますか？



2 研修会をきっかけに、ICT活用工事を取組んでみたいと思いませんか？



【本市が抱えている課題】

- 受発注者ともに、ICT活用工事に関する**知識、経験が不足**
- ICT活用工事部分の**内製化が進んでいない**
- 都市型土木における**小規模土工を活用したICT施工の実績が少ない**

【対応（案）】

- 現場見学会や研修会の**継続的な開催**
- ICT活用工事**普及拡大のためのインセンティブ策の継続**
- 側溝改良などの**都市型土木におけるICT施工の促進に向けた研究**

1. ICT活用生産性向上・事業変革促進支援事業

(公共財団法人千葉市産業振興財団)

◇対象者

千葉市内に本社若しくは事業所を置く **中小企業者** (別途条件有)

◇対象経費 (詳細は別紙)

クラウドサービスの利用料、ソフトウェアの購入費、システムの設計費・構築費 (必須)
その他、専ら本事業のために使用され、かつ、本事業の遂行に必要不可欠な経費の一部

◇助成限度額 (助成率)

最大50万円 (総額の2/3以内)

※助成率は一部条件有

2. 中小企業省力化投資補助金 (カタログ注文型)

(独立行政法人中小企業基盤整備機構)

◇対象者

人手不足の状態にある **中小企業等** (別途条件有)

◇対象経費 (詳細は別紙)

省力化製品の設備投資における (1) **製品本体価格**、(2) **導入に要する費用 (導入経費)**

◇助成限度額 (助成率)

1,500万円 (1/2以下)

※助成率は一部条件有